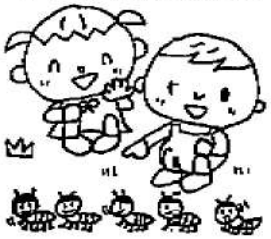
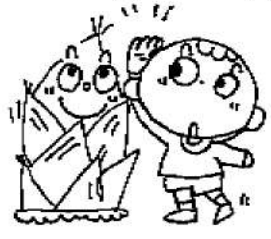


ご進級おめでとうございます。桜の花やちゅうり、びの花が満開の中、18名のあざみさんがスタートしました。あざみさんの藤色の名札をつけてもらい、中尾保育園の1番上のお兄ちゃん・お姉ちゃんの前にならべてとってもらえたらなあお子連です。

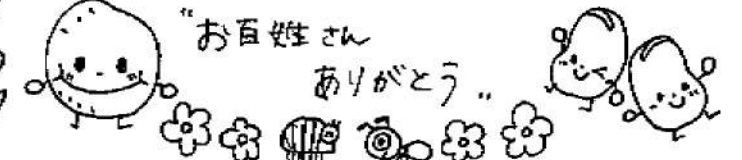
「あざみさんにならぶんは事したい?」と聞いてみると、「大鼓がしたい!」・「お花こし作りしたい!」・「お獅子舞がしたい!」・「畑がしたい!」と言っている姿に前のあざみさん達の姿を見てあこがれの思いを胸に、はりにふくらませてあふれる意欲を高めているお子連にとってもらえたく思います。

また畑の様子を見に行くと、前のあざみさんが植えてくれたお野菜だよとお話すると、「このお野菜は何?」・「これは?」とお野菜の名前を聞いたリ、「畑にはいろんな虫さんがいっぱいいるんだね」として虫さんやたんご虫さんとふれ合い中畑遊びを楽しみにしているお子連です。

この好奇心、はりのあざみさん達の意欲をこれから先さまざまな体験をする中で自らが生きていこうとする力を培いながら「どんなことにもくじけず子ども・思いやりのある子ども・自主的で大らかでたくましい子ども」への成長を願って感性を豊かに育み、一人一人の個性をつかせるように楽しく、元気にその気にならぶに遊んでいきたいと思っています。



今月のねらい
 ・年長児にふた喜びと意欲をふくらませ自覚を深め育ち
 ・共に自然の中で仲間と共にのびのびと楽しく遊ぶ中
 ・春の豊かな自然に親しむ。



あざみ組はこの1年間、「お百姓さんありがとう」というお話をもとに「お百姓さんの生活体験を通して働くことの喜びや小動物への愛情、自然の営みと生命の尊さ、生きか、自然への感謝の心を育ち」というテーマにそって日々の遊びを展開していきます。

季節ごとに畑を耕し、いろんなお野菜の種を蒔き、苗を植えて、その成長を見守り、実がやると収穫をし、その体験の喜びをみんなに分けてあげたり、また命ある水と虫さんたちにも愛情と優しさをかけてながら四季折々の自然の中で遊んでいきます。

土に親しむ、働くことの喜びを体験し、自ら作ったものを食べ、色んな人が作ってくれたものを食べることで人への感謝も生まれます。そして心身共にたくましく、心強くやさしい年長児へと向かって遊んでいきたいと思っています。



あざみさんになり、畑あそびがはじまります。畑用の長靴を1足準備をお願いします。また土をさることも多くあるので、つめをいも見てあげてください。(つめの中に土が入るとはがれかたれません)

結び練習をしていきたいと思っています。お弁当は大きめのハンカチに包み、その他のコップ、おしぼりなどは今使っているお弁当に入れて持ってきて下さい。ハンカチは大きめ(ビスマスサイズ)がいいです。